

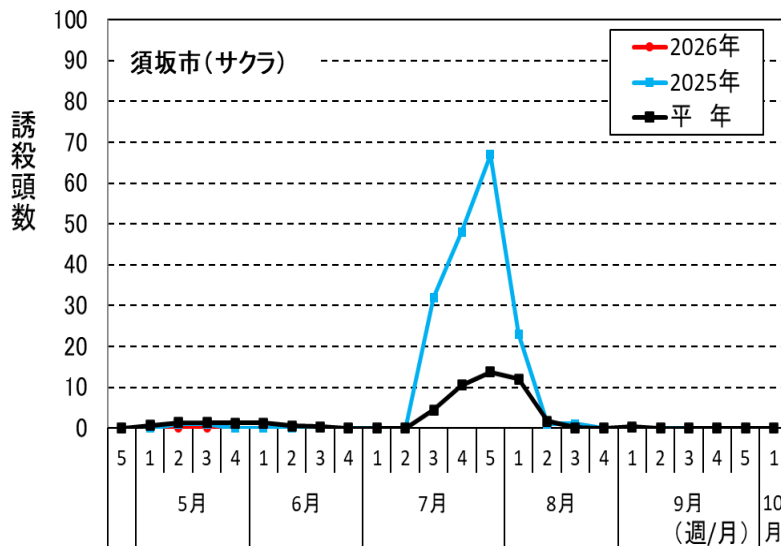
# アメリカシロヒトリのフェロモントラップ誘殺消長 [2026年調査]

病害虫防除部

## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年2回発生する。越冬世代成虫は5月中旬～6月上旬、第1世代成虫は8月上～中旬に発生する。成虫の寿命は5～10日ほどである。
- ・リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、アンズ、クルミ、サクラ等の街路樹に寄生する。
- ・成虫は体長約15mm、純白の蛾であるが、越冬世代の雄には翅に褐色または黒色の斑点が散在する。
- ・若齢幼虫期は群生しているので、被害が著しい場合にはその部分を枝ごと切り取って焼却処分することが有効である。
- ・薬剤による防除効果は高いので、幼虫が分散した後は殺虫剤により防除する。

## ○須坂市（病害虫防除部）



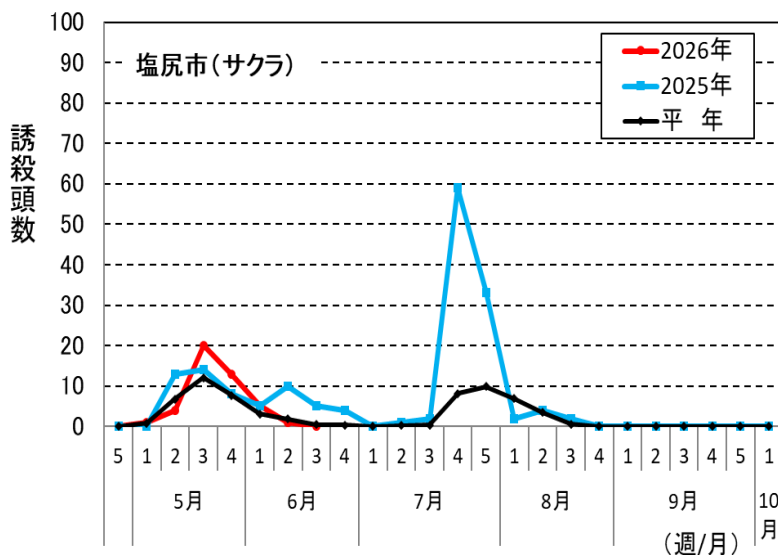
### 【調査地点】

- ・須坂市小河原（標高約350m）
- ・平年は2016～2025年の平均値

### 【コメント】

・本地点では、例年7月に入るまで誘殺がほぼない状況である。本年もここまで誘殺は記録されていない。

## ○塩尻市（病害虫防除部）



### 【調査地点】

- ・塩尻市宗賀（標高約750m）
- ・平年は2016～2025年の平均値

### 【コメント】

・本地点は塩尻地点と異なり、例年5月にある程度まとまった誘殺が記録される。本年も5月第3週に平年を上回る誘殺数が記録された。その後はほぼ誘殺がない状態まで数が減っている。